

2023年度千葉市中央区地域活性化支援事業
3年継続事業、3年度



事業目的

- 学校の音楽の授業ではなかなか体験できない吹奏楽の楽器に触れ、演奏を学ぶ機会を作る。
(現在、星久喜中学校には吹奏楽部がない)
- 演奏発表する場を設けて、地域の人に聴いてもらう
- 生の演奏に触れる機会を作り、地域に音楽文化の振興を図る。

星の子音楽講座

星久喜中学校区青少年育成委員会

取組内容

本年度の具体的な取り組み内容です

- この音楽講座は星久喜中学・星久喜小学校の生徒・児童及び保護者を主な対象に、学校を通してチラシを配布しました。前期は中学生2名、小学生6名、保護者1名、合計9名が参加しました。後期は中学生3名、小学生6名、保護者1名、合計10名が参加しました。
- ひとコースを期間5ヶ月の10回の講座とし、1年間で前期、後期と2コース行いました。継続受講も可能とし、今年度の前期は5名が継続受講者で、4名が新規申込者、後期は7名が継続受講者で3名が新規受講者でした。
- 楽器は希望する楽器を星久喜中学校から借り受けます。今年度はトランペット、ホルン、ユーフォニアム、クラリネット、フルート、アルトサクソ、テナーサクソ、鉄琴がありました。
- 第1回目は星久喜中学校音楽室で説明会を行い、2回目以降の講座練習は青葉の森に隣接するハーモニプラザの音楽室で行いました。前期は日曜日の午前中に、後期は土曜日の午後を実施しました。

取組内容（講座以外で）

- 10月の地域の住民が参加する運動会で、競技の合間に演奏発表の場を設けてもらいました。「キラキラ星」と「もみじ」を演奏しました。
- 楽器の提供のチラシを作成して地域の方に回覧板で提供を呼びかけました。結果、今回はマリンバの提供を受けました。
- 4月の頭に、葛城中学校の吹奏楽部の練習に参加させてもらいました。
- 今年度は3名の講師を新しく迎えました。

地域のサポート

- ・ 星久喜中学校・・・楽器の貸し出し、説明会会場の提供、案内文書の配布
- ・ 星久喜小学校・・・案内文書の配布、演奏発表の場所の提供
- ・ 星久喜地区地域運営委員会・・・演奏発表の機会の提供、楽器提供チラシの配布、楽器修理費の補助



事業のふりかえり

- この数年、衛生面の理由で演奏発表ができなかったが、今年度はコロナ禍の環境がようやく終わり、地域のイベントにおいて演奏を発表する機会を設けることができた。さらに、3月には地域の介護施設において発表を計画している。
- 今年度は新しく3名の講師にご協力いただいた。これからも講師をはじめ、協力者を確保して増やしていきたい。
- 今後も「星の子音楽講座」を地道に継続していき、楽器に触れる機会を確保して、地域で演奏発表を行い、少しずつ活動を浸透させ、広げていきたい